

## 平成29年3月期 決算概要

### 1. 連結決算概要(経営成績)

(単位:億円)

区 分	H29/3 期 実績 (A)	H28/3 期 実績 (B)	増減		番号	
			(A)-(B)	$\frac{(A)-(B)}{(B)}$ %		
営業収益	高速道路事業	8,812	8,305	506	6.1	①
	料金収入	7,457	7,396	61	0.8	②
	道路資産完成高	1,324	879	445	50.7	③
	その他	29	30	▲ 0	▲ 2.3	④
	関連事業	540	535	5	1.0	⑤
	SA・PA事業	335	338	▲ 3	▲ 1.0	⑥
	その他の事業	205	196	8	4.4	⑦
	計	9,352	8,841	511	5.8	⑧
営業費用	高速道路事業	8,784	8,267	516	6.2	⑨
	道路資産賃借料	5,332	5,336	▲ 3	▲ 0.1	⑩
	道路資産完成原価	1,324	879	445	50.7	⑪
	管理費用	2,126	2,051	74	3.7	⑫
	関連事業	473	476	▲ 2	▲ 0.5	⑬
	SA・PA事業	280	279	0	0.2	⑭
	その他の事業	193	196	▲ 2	▲ 1.4	⑮
	計	9,257	8,743	514	5.9	⑯
営業利益	高速道路事業	28	38	▲ 10	▲ 27.0	⑰
	関連事業	66	59	7	12.9	⑱
	(うちSA・PA事業)	55	59	▲ 3	▲ 6.5	⑲
	計	94	97	▲ 2	▲ 2.8	⑳
経常利益	114	128	▲ 13	▲ 10.8	㉑	
当期純利益 <sup>※1</sup>	159	73	85	116.4	㉒	
代行返上に伴う法人税等調整額を除く 当期純利益 <sup>※2</sup>	76	73	2	3.1	P3 参照	

※1 「当期純利益」には、親会社株主に帰属する当期純利益を記載しています。

※2 前期比較のため、厚生年金基金の代行返上に伴う法人税等調整額を控除した当期純利益を記載しています。

※3 億円未満は、切り捨てで表示しています。以下同様です。

(注) 当社グループの事業区分及びその主要内容は、以下のとおりです。

事業区分	主要内容	
高速道路事業	高速道路の新設、改築、維持、修繕、災害復旧及びその他の管理等	
関連事業	SA・PA事業	高速道路の休憩所、給油所等の建設、管理等
	その他の事業	受託事業、駐車場事業、トラックターミナル事業及びコンサルティング事業等

※文中の丸囲み番号は、1 ページの表の右側に記載の「番号」と対応しています。

## 2. 高速道路事業トピックス

- 当社管内の高速道路の通行台数は、前期比 1.9%増の 282 万台／日となり、料金収入は、前期比 61 億円増の 7,457 億円となりました。…②
- 独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（以下「高速道路機構」といいます。）に対する道路資産賃借料は、前期比 3 億円減の 5,332 億円となりました。…⑩
- 管理費用は、道路保全点検や除雪・凍結防止作業の増加などにより、前期比 74 億円増の 2,126 億円となりました。…⑫
- 以上のことなどから、高速道路事業の営業利益は、前期比 10 億円減の 28 億円となりました。…⑬
- 道路資産完成高は、東九州自動車道（<sup>しいだみなみ</sup>椎田南インターチェンジ～<sup>ぶぜん</sup>豊前インターチェンジ）の完成などがあり、前期比 445 億円増の 1,324 億円となりました。…③  
なお、道路建設にかかった経費と同額の債務を高速道路機構に引き渡すため、道路資産完成高は道路資産完成原価と同額となり、道路建設から利益や損失は発生しません。…⑪

※文中の丸囲み番号は、1 ページの表の右側に記載の「番号」と対応しています。

### 3. 関連事業トピックス

- S A ・ P A 事業の営業収益は、熊本地震に伴う営業休止による店舗売上の減などにより、前期比 3 億円減の 335 億円となりました。…⑥
- S A ・ P A 事業の営業利益は、前期比 3 億円減の 55 億円となりました。…⑱
- 関連事業全体の営業利益は、上記の S A ・ P A 事業利益が減少する一方で、子会社外販事業利益の増加などにより、前期比 7 億円増の 66 億円となりました。…⑲

### 4. 全事業の業績

- 以上のことから、全事業の営業収益は、前期比 511 億円増の 9,352 億円となりました。…⑧
- 全事業の営業利益は、前期比 2 億円減の 94 億円となりました。…⑳
- 当期純利益は、平成 29 年度に発生する厚生年金基金の代行返上 ※に伴い法人税等調整額 83 億円を計上したことにより、前期比 85 億円増の 159 億円となりました。…㉒  
 なお、代行返上に伴う法人税等調整額を除く場合の当期純利益は、前期比 2 億円増の 76 億円となります。

	H29/3 期実績	代行返上に伴う法人税等調整額を除く場合
経常利益 ㉑	114 億	114 億
特別損益、法人税等	▲38 億	▲38 億
代行返上に伴う法人税等調整額	83 億	
当期純利益 ㉒	159 億	76 億

※ 当社が加入する建設関係法人厚生年金基金は、厚生年金基金の代行部分について、平成 29 年 5 月 1 日付で厚生労働大臣から過去分返上の認可を受けました。これに伴い、平成 29 年度の損益計算書において約 270 億円を特別利益として計上する予定です。平成 28 年度には、税効果会計基準に基づく法人税等調整額 83 億円を計上しました。

	H29/3 期 実績	H30/3 期 予想
特別利益	—	270 億
法人税等調整額	83 億	▲83 億
利益への影響額	+83 億	+187 億

【参考1】 個別決算概要(経営成績)について

(単位:億円)

区 分	H29/3 期 実績 (A)	H28/3 期 実績 (B)	増減		
			(A)-(B)	$\frac{(A)-(B)}{(B)}$ %	
営業収益	高速道路事業	8,794	8,286	507	6.1
	料金収入	7,459	7,398	61	0.8
	道路資産完成高	1,324	879	445	50.7
	その他	9	9	0	4.5
	関連事業	209	213	▲ 3	▲ 1.5
	SA・PA事業	105	105	▲ 0	▲ 0.2
	その他の事業	104	107	▲ 3	▲ 2.8
計	9,004	8,499	504	5.9	
営業費用	高速道路事業	8,780	8,267	513	6.2
	道路資産賃借料	5,332	5,336	▲ 3	▲ 0.1
	道路資産完成原価	1,324	879	445	50.7
	管理費用	2,123	2,052	71	3.5
	関連事業	179	196	▲ 16	▲ 8.5
	SA・PA事業	75	77	▲ 2	▲ 3.3
	その他の事業	104	118	▲ 14	▲ 12.0
計	8,960	8,464	496	5.9	
営業利益	高速道路事業	13	18	▲ 5	▲ 29.0
	関連事業	30	16	13	81.3
	(うちSA・PA事業)	30	27	2	8.7
計	43	35	8	22.9	
経常利益	74	70	3	5.6	
当期純利益	136	41	94	227.5	
代行返上に伴う法人税等調整額を除く 当期純利益	52	41	11	27.1	P3 参照

【参考2】平成30年3月期業績予想

(単位:億円)

区 分		連結			個別
		H30/3期 予想 (A)	H29/3期 実績 (B)	増減 (A)-(B)	H30/3期 予想
営業収益	高速道路事業	18,476	8,812	9,664	18,476
	料金収入	6,931	7,457	▲ 526	6,931
	道路資産完成高	11,544	1,324	10,220	11,544
	その他	0	29	▲ 29	0
	関連事業	541	540	1	249
	SA・PA事業	327	335	▲ 8	105
	その他の事業	213	205	8	144
	計	19,017	9,352	9,665	18,726
営業費用	高速道路事業	18,469	8,784	9,685	18,469
	道路資産賃借料	4,671	5,332	▲ 661	4,671
	道路資産完成原価	11,544	1,324	10,220	11,544
	管理費用	2,253	2,126	127	2,253
	関連事業	488	473	15	226
	SA・PA事業	280	280	0	80
	その他の事業	207	193	14	146
	計	18,957	9,257	9,700	18,696
営業利益	高速道路事業	7	28	▲ 21	7
	関連事業	52	66	▲ 14	23
	(うちSA・PA事業)	46	55	▲ 9	24
	計	60	94	▲ 34	30
経常利益		58	114	▲ 56	23
当期純利益		228	159	69	203
代行返上に伴う特別利益及び法人税等調整額を除く当期純利益		41	76	▲ 35	16

P3 参照

・当期純利益には、代行返上に伴い270億円の特別利益を計上する予定です。